

2023年8月16日

お客様各位

株式会社エムケイシステム
代表取締役 三宅 登

ランサムウェア感染被害のお詫びと今後につきまして

2023年6月4日（日）にランサムウェアによる不正アクセス被害（以下、本事案）を受け、「社労夢シリーズ」のサービスを停止することとなり、ユーザー様、顧問先様並びに関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことを改めて深くお詫び申し上げます。また、サービスを再開した社労夢クラウド版につきましても接続障害等、不安定な稼働になっている事も合わせてお詫びいたします。

本事案発生以来、皆様に大変な状況を強いる事となり、たくさんの厳しいご意見もいただき、心を痛めて参りました。またこのような状況下、励ましのお言葉も頂戴いたしました。全てのご意見に心より感謝いたしますとともに、今後ますますユーザー様や関連分野の発展に少しでも貢献すべく、取り組みを進める気持ちを新たに、社員一同励んでまいり所存です。今後、お客様に安心してご利用いただくため、情報セキュリティ対策及び監視体制の見直しや更なる強化を実施し、同じ事態が発生しないよう再発防止策を徹底してまいります。

さて、2023年8月8日（火）に発表させていただいた適時開示（IR）を受け、多数のユーザー様から、弊社の財務状況や退職者増加などによる事業継承についてご心配の声をいただいております。皆様のご懸念を重く受け止め、財務状況の立て直し、並びに社会保険労務士業界、労務管理業に関わる皆様への貢献のため、私をはじめ社員一同、早急なサービスの正常化と、新たなサービスの向上に邁進すべく意思を強くしております。決して容易な道程ではないと考えています。しかしながら、現在、私三宅のもとで、ともに目標を貫いていく覚悟を強く決めた役員ならびに従業員が、全身全霊で努力する所存であることを、本文書にてユーザーの皆様にお伝えさせていただきます。

弊社の財務状況について一部要約ではありますが、ご説明させていただきます。8月8日に公表させていただいた2024年3月期の連結業績予想は、売上高：2,624百万円（対予算：593百万円減）、経常利益：▲181百万円、特別損失：▲260百万円、当期純損失：▲441百万円という大幅減益の報告になりました。

経常利益マイナスの殆どは、サービスがご利用出来なかった期間の利用料の減額分、本事案

に伴う解約及び新規受注の減額を見込んだ数字です。

また、特別損失は、本事案に伴う旧サーバーセンターの撤去費用、調査費、システム復旧及びサービス再開にあたり外部専門機関への調査委託費用、インフラ設備再構築、セキュリティ増強費用となります。

経営的には大変な赤字を計上することになりましたが、本事案が発生すると同時に、メインバンクをはじめとする銀行団による 5 億円の融資が決定し、今回の大きな投資を即決する運びとなりました。

また 7 月には「社労夢ハウス」の導入決定や、資料請求、導入相談のお申込など、通常の営業活動を徐々にではございますが再開をしております。

6 月 30 日のサービス再開に至った経緯につきましてもご説明させていただきます。

旧インターネットデータセンターのシステムを復活させるべきか、AWS によるクラウド版への移行を進めるべきか、の選択については大変重大な決断であり、ユーザー様への影響、再開までの必要工数、費用負担の予測など、様々な側面からの検討、且つ短期間に決断が必要でした。結果として、今後のサービスの拡大や、セキュリティの担保、可用性の確保のために AWS でのクラウド版を選択することを決断いたしました。

この決断に至るまでにユーザー様に多大なご迷惑をおかけしましたが、今後、何卒上記決断についてご理解・ご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、年末調整データ収集システム「eNEN」につきましては、Microsoft 社の Azure クラウドを利用した製品であり、本事案の影響や被害は一切ございません。現在も多数の引き合いをいただいております。このようなことを本文書に記載することは恐縮ではございますが、弊社の経営状況へのご心配を払拭するために付記させていただきます。

経営の根幹となるサービスの解約状況につきましては、本事案が発生した 2023 年 6 月以降の解約と解約予約件数は一部のライセンス解約を含めて 124 件（内、サービス障害が理由の解約は 86 件）でした。これから解約をご検討予定の方の可能性を含めて、今後の事業計画を策定しております。

解約をされたユーザー様には心からお詫びを申し上げますとともに、ご利用を継続いただけるユーザー様には、大きな感謝と、ご期待を無駄にすることのないよう気持ちを新たにする思いです。

ここで少し「社労夢シリーズ」についてお話しをさせていただきます。

「社労夢」は 1999 年のリリースから 24 年の歴史を持つシステムです。

リリース当初は事務組合向けオンプレミス版でしたが、まず保険関係の手続き業務に対応

し、次に電子申請システムをリリースしました。その後時代の変化とともに「社労夢ハウスネットワーク」の名称で、クラウド版に移行しサブスクリプションを採用しました。勤怠管理や給与計算・業務受付などの顧問先向けシステムを増設し、またマイナンバー管理システム MYNABOX をはじめとした社労夢と連携する DX 製品をリリースして、顧問先 DX、企業 DX の推進に注力して参りました。システムの価値としてこの 20 数年間、常に時代の先端を進めるよう、努力を重ねてまいりました。

その間常に、ご利用者数を増やしていくことができたのは、ひとえにユーザー様お一人お一人からの信頼とご期待があったからこそだと理解しております。今回、大きく失ってしまった信頼とシステムへの期待を僅かずつでも回復していくために、我々は早々に立ち上がらねばならないという思いで、改めて 24 年前と同じスタートラインに立った思いです。

改めて申し上げたいのは、日々、経営努力を重ねてこられた社労士事務所の皆様、顧問先の皆様、ユーザーの皆様、関係者の皆様に大変なご迷惑をおかけしたことを、我々は深く受け止め反省し、今後も胸に刻み、僅かずつでも信頼回復の機会をいただきたく、努力して参る所存であるということです。

会社としては大変な業績予想を出すこととなりました。文頭でも申し上げました通り、ご心配のお声をいただいているような状況でございます。

そのような状況でも、社労士事務所様ならびに顧問先企業様、一般法人の労務管理部門様の DX 推進の波を、我々の問題でとどめるわけには決してまいりません。一部でクラウドへの不安のお声も生じている状況ですが、改めて BCP（事業継続計画）の観点も踏まえ、それらを一挙に払拭できるサービスを展開していく必要がございます。セキュリティも同様です。社労士事務所様、顧問先企業様をはじめとした全てのユーザー様のセキュリティを堅牢なものにできるよう、先頭に立って一步また一步と DX の歩みを進めることを使命と感じています。DX を進めるために、今後もユーザーの皆様とともに歩ませていただけますよう何卒、改めてお願い申し上げます。

弊社も今回の件を決して風化させぬよう、経験の糧とさせていただき、製造元としまして多数のユーザー様に長年にわたりご利用いただいている「社労夢シリーズ」への誇りを再認識し、より一層、製品の安定稼働と機能向上、ご利用いただく全ての方に無くてはならない製品になるまで突き進んでまいります。

ユーザー様にご恩返しができるように、心して努めて参ることをお約束いたします。

最後になりましたが、ユーザー様、顧問先様並びに関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことを重ねて深くお詫び申し上げます。

サービス再開と不正アクセスに関する調査結果のご報告は下記 URL からご確認いただけます。

<https://www.mks.jp/shalom/news/>